

第4号議案 令和7年度 事業計画について

令和7年度は、主食用米の価格高騰というプラス要件はあるものの、高齢化による離農や規模縮小により市内の農家戸数や経営面積の減少が懸念され、公社の運営もますます厳しくなると考えています。

しかしながら、水稻育苗施設の改修、増産や水稻作付面積の拡大を行い生産面での収入増を目指し健全な運営を進めることで、農業者支援の事業を積極的に行っていきます。

また、最低賃金の改定や人件費の上昇による負担も拡大していますが、農業公社としての事業を推進できるよう、欠員である2名の職員確保に向け各種就職説明会へ参加し優秀な人材確保に積極的に取り組めます。

1. 農作業受託事業

農作業受託は、農家の減少に伴い年々減少傾向にあり本年度も概ね1割程度の減少を見込んでいますが、利用料金の改定によりほぼ例年並みの収入を見込んでいます。

料金改定は、作業ごとに違いはありますが概ね1割程度増額としています。

また、ヘリコプターによる水稻防除においては、昨年度と同じ料金で実施しますが、受託面積は減少するものと考えています。

農作業受託では、丁寧な作業と固定依頼者を確保、水稻では苗から刈取までの一貫した農作業の受託に努めます。

また、「玉ねぎ」「かんしょ」の産地化に向けた取り組みを支援していきます。

* 令和7年度 計 画

(千円)

項 目	収入額	支出額	収 益	対前年度収益	備考
1 一般受託	11,470	6,770	4,700	△100	170ha
2 ヘリ防除	18,552	13,142	5,410	△290	450ha
合 計	30,022	19,912	10,110	△390	

2,中核的担い手及び新規就農者の育成事業

1)こねぎトレーニングファーム研修施設の運営

こねぎトレーニングファームは、令和6年度から研修生の受け入れを中止していることから、施設の管理のための「こねぎ」の生産を行っています。

2)ハウスリース事業

ハウスリース事業では、こねぎトレーニングファーム卒業生1期生から7期生までの25施設を建設しており、昨年度までに2期生までの8施設において譲渡が終了し、本年度は3期生の3施設の譲渡を予定しています。

*ハウスリース事業：年間のハウスリース料及び農地賃借料を徴収し銀行への返済、地権者への賃借料として支払います。

*利子補助：5期生（令和元年建設）、6期生（令和2年建設）については、銀行借り入れの利息が他の卒業生と比較して高かったことから、その一部について公社が補助を行っています。

3,特産品の生産・販売に関する事業

農産物の生産・販売においては、公社事業の中心である農作業受託等の農家支援が減少する中で、公社の運営のカギを握る重要な事業になると考えていることから、味一ねぎ・主食用米・水稻苗・玉ねぎ苗等の生産に力を入れていきます。

特に、主食用米の生産では、管理田の面積を拡大し昨年度の1.3haから2haへ作付を予定しています。

また、本年度実施する水稻育苗施設の改修により水稻苗の生産枚数を2,000枚増産し14,000枚を見込んでいます。

その他、市内で面積拡大を行っている双日大分農人（株）との連携により、「玉ねぎ」苗の生産にも取り組んでいきます。

* 令和 7 年度 計 画

* 農産物生産事業

(千円)

項 目	収入額	支出額	収 益	対前年度収益	備考
1 こ ね ぎ	14,183	13,929	254	△735	50 a
2 主食用米	2,700	1,307	1,393	1,257	2 ha
3 かんしょ	190	175	15	392	10 a
合 計	17,073	15,411	1,662	914	

* 苗生産事業

(千円)

項 目	収入額	支出額	収 益	対前年度収益	備考
1 水 稲 苗	10,205	3,019	7,186	2,712	14,000 枚
2 玉ねぎ苗	1,385	447	938	396	1,275 枚
3 かんしょ苗	0	0	0	△324	事業中止
合 計	11,590	3,466	8,124	2,784	